

## About TDK

TDKは、世界初の磁性材料フェライトの事業化を目的として1935年に設立され、「創造によって文化、産業に貢献する」という創業の精神に基づき、様々な製品の開発と商品化に取り組んでまいりました。

今後も、TDKのコア技術である素材技術、プロセス技術、評価シミュレーション技術をさらに高め、顧客のニーズをしっかりとつかみ、顧客の望むものをタイミング良く提供する「真のe-material solution provider」として「Exciting Companyの実現」を目指します。

## 目次

変化を受け入れながら、不変の価値を見つめる	01
連結財務ハイライト	06
ステークホルダーの皆様へ	07
環境保全に関する取り組み	10
コーポレート・ガバナンス	11
「コア技術とナノテクの融合」がTDKの成長を加速する	12
部門別売上高	18
営業の概況	20
取締役、監査役および執行役員	26
財務の概況	27
過去5事業年度における主要な財務数値および指標	44
連結損益計算書	45
連結貸借対照表	46
連結資本勘定計算書	48
連結キャッシュ・フロー計算書	49
注記事項	50
和文アナニュアルレポートの監査について	75
投資関連情報	76

### 見直しに関する留意事項

このアナニュアルレポートに記載されている、当社または当社グループに関連する業績見直し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外のすべての事実は、当社が現在入手している情報に基づく、アナニュアルレポートの作成時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価などを基礎として記載されているに過ぎません。また、見直し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見直し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。すなわち、当社グループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス・ビジネス市場は変動性が激しく、加えて当社グループは国内のみならず海外においてもビジネスを行っているため、技術、需要、価格、競争状況、各地の経済環境の変化、為替レートの変動、その他の多くの要因が、業績に影響を与えることがあります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。